

ダム健全性の簡便・高精度な定量評価手法の研究開発事業

担当府省庁：経済産業省

(事業費：25百万円 (R8)、対象事業：調査・研究開発事業、事業実施期間：R8~R9)

連携先：国土交通省

事業の目的

ダムの健全性評価のために、ダムの変位やクラック進展を簡便かつ高精度に計測する手法を開発・高度化し、AIによる評価に必要な定量データ取得技術として実用化することで、事前防災に貢献します。

事業の内容

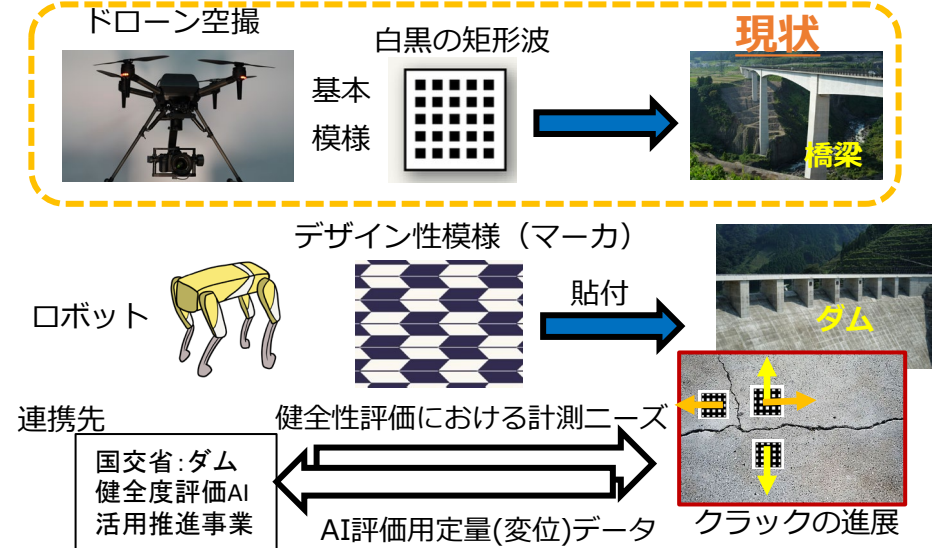
(現状及び課題)

- ダム等のインフラ構造物の健全性評価は、**目視による判断**に依存しているのが現状
- AIによる評価のための**定量データの不足**
- 簡易かつ高精度な定量データ取得手法が必要**

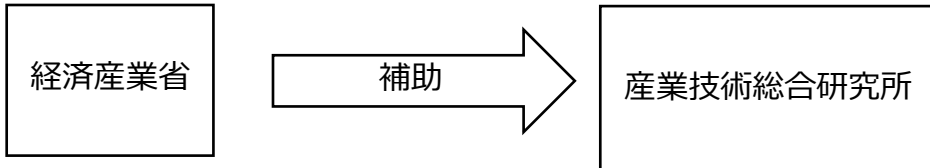
(取組内容)

- カメラ+高デザイン性マーカ+AI自動解析技術等を融合し、現場負担が小さく、 $\mu\text{m}\sim\text{mm}$ オーダーの精度で長期的な**変位変化の定量計測手法を開発**
- 国交省とも連携して、健全性評価に必要な計測ニーズ(例：クラック進展)に**最適な計測手法の開発**と連携先への**定量データの提供とその仕様決定**

実施イメージ・具体例



事業のスキーム



事業により得られる効果 (アウトカム)

本技術の高度化により、ダムの健全性を長期的に簡便かつ高精度に把握。定期点検時のクラックの定量データ等を健全性評価システムに提供すること等で、安全・安心な事前防災に貢献。